



CONTENTS

- 2 特集 / 第2次市総合計画後期基本計画を策定
- 6 特集 / 自分らしい生き方を維持する
- 10 シンセン! こぼやし! フォトコンテスト

後期基本計画策定の歩み

後期基本計画は、「まちづくり市民アンケート」の各施策への満足度や市民へのグループ・インタビュー（コロナ禍の影響調査）結果、小林市総合計画等審議会による前期計画への評価・検証などを基本施策へ反映させています。

小林市まちづくり市民アンケート (令和3年2月)



無作為に抽出した市民2千人へアンケートを送り、基本構想や各施策への満足度などを計画に反映しました（有効回答率44.5%）

グループ・インタビュー (令和3年6月)



56団体86人の皆さんからコロナ禍の影響などを聞き取り、計画に反映しました

小林市総合計画等審議会 (令和3年6月～令和4年1月)



市の取り組みの評価や後期基本計画について7回にわたり審議。その結果を市長へ答申しました

後期基本計画の特徴

Point 協働の取り組みの具体化

第2次小林市総合計画は、市民主体で定めた基本構想において「協働の取組」を設定しました。そこで、後期基本計画では、「行政と市民が協働して取り組むこと」、「市民に取り組んでほしいこと」を施策ごとに具体的に明記して、協働できる計画にしています。

【「協働の取組」の一例】

中心市街地のイベントなどへの積極的な参画と、魅力の発信／健康に関する情報の積極的な取得と、正しい情報の発信／自主防災組織の継続的な活動と各種防災訓練への参加による防災意識の向上／公共交通機関の積極的な利用 など

Point 財政運営の基本方針の設定

持続可能なまちづくりを展開するためには、新型コロナをはじめとした複雑かつ多様な課題の解決や新しい施策に取り組むことも重要です。そこで、最少の経費で最大の効果を発揮するために、財政運営の基本方針を定めました。

【財政運営の基本方針】

- ①新規事業の実施 ②後期基本計画に基づく予算措置
- ③持続可能な財政運営の確立 ④公共施設等に係る投資の平準化 ⑤事業の見直し

Point エスディーゼーズ SDGsの取り組みを推進

SDGsは、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会実現に向け、17のゴールと169のターゲットから構成されています。後期基本計画では、各基本施策に17のゴールを関連づけることで、持続可能な社会に向けた取り組みを推進します。



持続可能なまちづくりを推進する

第2次小林市総合計画

後期基本計画

を策定しました

「みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかこ小林市」を将来都市像とする「第2次小林市総合計画」のうち、令和4年度から令和7年度までの行政の取り組みを定めた「後期基本計画」を策定しました。前期基本計画が令和3年度に満了するため、令和4年度からの行政の取り組みを切れ目なく継続するために策定するものです。

今回の特集では、後期基本計画の特徴や概要について紹介します。

●問=企画政策課 Tel. 23-0456

第2次小林市総合計画とは

総合計画は、今後どんなまちにしていくのか、そのために何を行っていくのかなどを定めた、いわばまちづくりの設計図。

まちづくりの長期的な目標や方向性を定める『基本構想』。「基本構想」の実現に向けた行政の取り組みを定める『基本計画』と、地区の取り組みを具体化する『地区別計画』。「基本計画」を具体的にどのように実施していくかを定める『実施計画』で構成されています。

なお、「基本構想」には、まちづくりの方向性を市民主体で考え、話し合うために平成28年に開催された市民ワークショップの意見が反映されています。

基本理念（小林まちづくり基本条例）

基本構想

| | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| にぎわい 人も心も ワクワクにぎわうまち | いきいき 健康でいきいき つながり合う笑顔のまち |
| まなび 生涯を通して学び合い 育ち合うまち | くらし 豊かな自然と共に 安心してくらするまち |

基本計画

地区別計画

実施計画

目指す将来都市像

みんなでてなむ 笑顔あふれる じょじょんよかこ小林市

平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度

基本構想（9年間）

前期基本計画（5年間）

後期基本計画（4年間）

Interview ～総合計画等審議会の会長に聴きました～



小林市総合計画等審議会
よしまる まさし
吉丸 政志 会長

小林市総合計画等審議会は、総合計画に関する事項を調査審議するために設置されており、各種団体からの推薦や公募による委員16人で構成されています。

令和3年度は、市の令和2年度の取り組みの評価や後期基本計画の策定を審議し、それぞれの立場のさまざまな意見が計画に反映されました。同会会長を務めた吉丸政志さんに、計画への想いを聴きました。

より身近な行政に
総合計画は、今後のまちづくりの指針となるものです。小林市総合計画等審議会の委員の皆さんは、生まれ育った小林市がよりよくなるための計画になればと、積極的に意見を出してくれました。
令和4年度から始まる後期基本計画では、施策ごとに「協働の取組」を設定しています。協働の取組を進めるため、市には市民が行政をより身近に感じることができるよう取り組んでほしいと願っています。

「協働の取組」で魅力的なまちづくりを
コロナ禍で住民同士の交流の機会が大きく減ったことで、これまで以上に地域のつながりが希薄になることを心配しています。
ですから、どうすればコロナ禍でも交流する機会をつくれるのかを考え、改善を加えながら実践していくことも必要だと思っています。
まちづくりを推進するためには、そこに住む私たちが地域をどうしたいか自ら考え取組むことが重要です。
後期基本計画は行政の取組を記した計画ですが、その中の「協働の取組」には私たち市民にできることが明記してあります。
一人ひとりが協働して取り組み、みんなで小林市を魅力的なまちにしていけたらと期待しています。

また、市の取り組みについて積極的に公表して市民

まちづくりは誰のもの わたしのもの、あなたのもの、みんなのもの

私たちが暮らす小林市は、恵まれた自然環境や人情味あふれる人々、地域性に富んだ多様な文化に育まれたまちです。

社会環境の大きな変化や予測できない自然災害の中でも「ふるさと小林市」を守り育てていくためには、私たち一人ひとりが助けあい、支えあいの心をもって、まちづくりに参加することが重要です。

「みんなでてなむ笑顔あふれる じょじょんよかとこ 小林市」へ。

私たちのまちをつくるのは、私たちです。



市ホームページから
後期基本計画を閲覧できます

◀左のQRコードから閲覧するか、市ホームページ内で検索してください



施策の大綱ごとの取り組み

にぎわい



地域経済を支える農畜産業や商工業、観光業を振興します。同時に、小林の持つ魅力を最大限発信することで、進行する人口減少と地域経済縮小に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを推進します。

【基本施策】

農林水産業を振興します／畜産業を振興します／商工業を振興します／観光産業を振興します／戦略的なプロモーションを推進します

まなび



急激な社会変化の中でも市民の学びが充実し、継続的に営まれるように、0歳から100歳を対象にした教育環境を整備し、『学びたい』『学ばせたい』気持ちを高める小林教育』を目標に取り組みます。

【基本施策】

学校教育を充実します／生涯学習を推進し、文化・芸術を振興します／スポーツ・体づくりを推進します

いきいき



全ての市民が健康で生きがいを持ち、笑顔でいきいきと生活できるよう、「健康」「医療」「介護」「福祉」「子育て」が連携し、互いに支えあいながら安心・安全に暮らせる協働のまちづくりを推進します。

【基本施策】

市民福祉の充実を図ります／高齢者を支援します／健康づくりを支援します／子ども・子育てを支援します／地域医療の体制の確保に取り組みます

くらし



人と人との良好な関係や交流があり、みんなで助けあい、支えあい、認めあう安心・安全なまちをつくります。また、きれいで豊かな自然を維持し、自然とともに暮らせるまちづくりを推進します。

【基本施策】

防災力・災害対応力を高めます／安心・安全で安定した給水を確保します／良好な住環境の整備を推進します／生活基盤を整備します／自然環境・生活環境を保全します／地域生活交通の確保を図ります／市民の人権意識を高めます／国際化・多文化共生を推進します

5つのリーディングプロジェクト

後期基本計画では、市の現状と課題を踏まえ、横断的で戦略的・優先的に取り組むリーディングプロジェクトを5つ設定しました。プロジェクトに取り組むことで計画の実効性を高め、効果的に課題解決を図ります。

1 人口減少対策プロジェクト

人口減少による社会や地域経済などへの大きな影響を極力抑え、急速な人口減少を緩和するための対策に取り組めます。

2 中山間地域対策プロジェクト

中山間地域は、人口流出や少子高齢化が進行し活力が低下している一方、豊かな地域資源に恵まれています。それらを活用し、地域の課題解決と振興に取り組めます。

3 健康都市プロジェクト

コロナ禍で健康づくりへの関心や取り組みの必要性がさらに高まっています。健康づくりの推進により、地域一体となって地域医療を守り育て、健康長寿を目指します。

4 脱炭素推進プロジェクト

環境問題への関心は世界的に高まっています。本市でも、脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの排出量の削減などに積極的に取り組みます。

5 自治体DX推進プロジェクト

デジタル化推進の必要性が高まっています。地域社会や行政のデジタル化を推進し、効率的で質の高い行政サービスを提供し、魅力ある地域づくりを推進します。



【特集】
自分らしい
生き方を維持する

小林市自立支援型介護予防の取り組みと、新たな取り組みである「元気わくわく教室」について紹介します。

●問=長寿介護課 Tel.23-1140

自立支援型介護予防の取り組み

もともと介護保険サービスは、それぞれの能力に応じ自立した生活ができるよう創設されたものです。回復できる機能は回復に向けて働きかけ、その人の状態に応じ可能な限り自立した生活ができるよう支援する取り組みが、全国的に推進されています。

市でも5年前から自立支援型介護予防の取り組みを始めています。元気な高齢者には、生活支援コーディネーターによる地域の通いの場の支援による社会参加の促進、住民主体の運動の場であるパワーステーションや近所の人たちと気軽に集い体を動かす近所体操など、さまざまな仕掛けづくりで、運動の習慣化・介護予防の普及に取り組んでいます。

また、令和2年度から開始した在宅高齢者訪問等調査事業では、市民ボランティアの調査員が高齢者宅を訪問し、今後介護などが必要になる可能性が高い人を早期に発見し、在宅介護支

援センターや地域包括支援センターなどの専門職の支援につなげる取り組みを実施しています。

段階に応じた支援と自立した生活のサイクルを行き来する

介護保険の認定を申請し、要支援1、2に該当となった人、地域包括支援センター職員が行うチェックリストに該当した総合事業対象者には、地域包括支援センターの職員が自立支援型のケアマネジメントを行い、できなくなった機能を回復または状態を維持するための手段として『介護予防・生活支援サービス事業』を、半年を一区切りとして利用します。

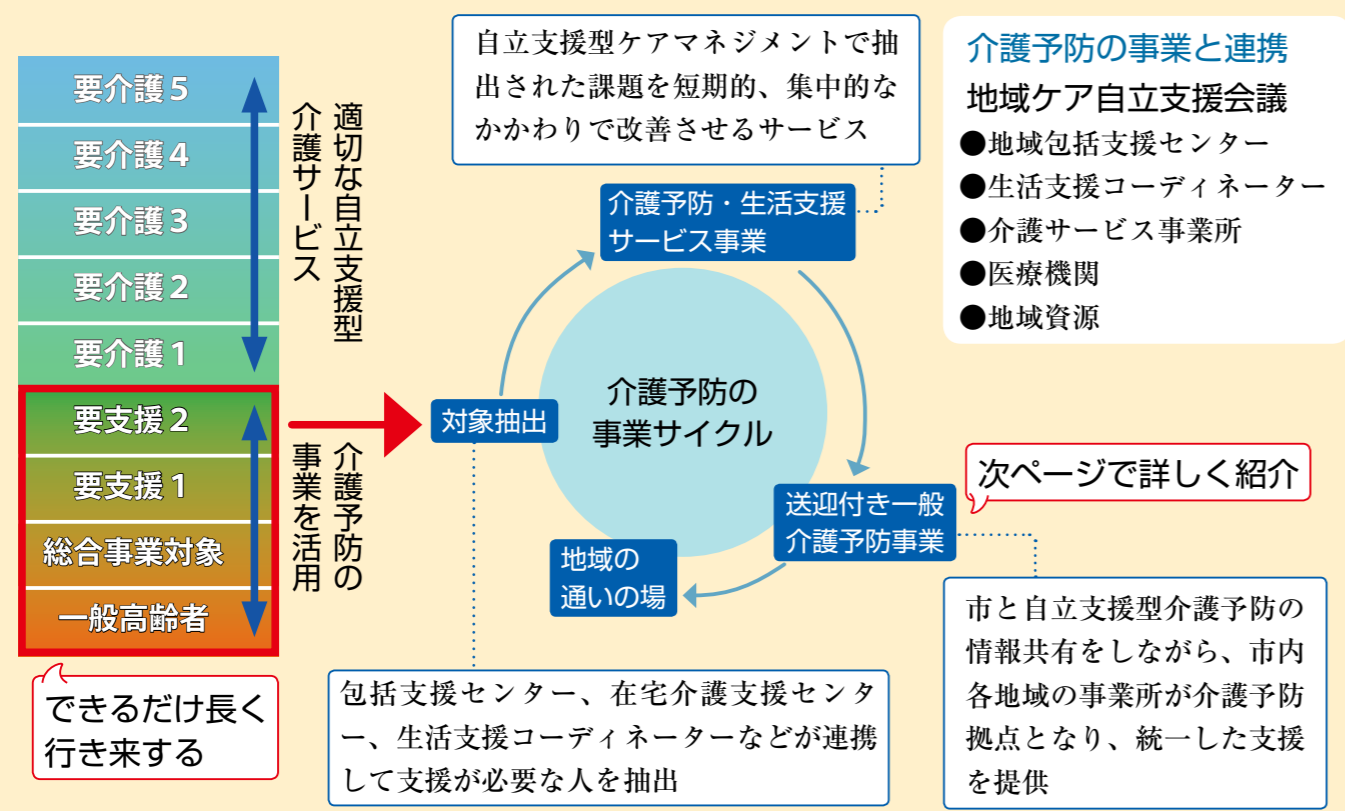
その後、状態の改善がみられたら『一般介護予防事業』や『通いの場』などを利用しながら、もとの自立した生活に戻っていきます。

このサイクルをできるだけ長く行き来していただき、いつまでも元気で自立した生活を送れるよう支えることが自立支援型介護予防の目的です。

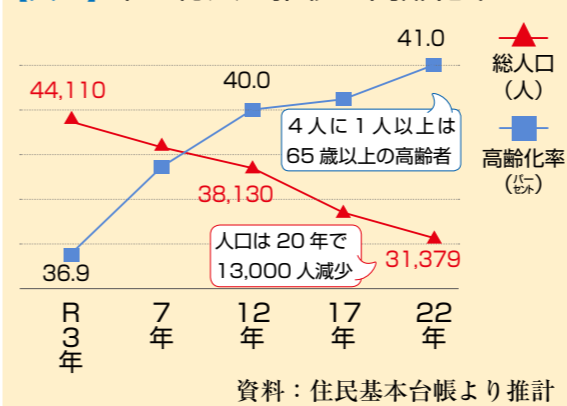
【図3】

【図3】 介護予防の取り組み

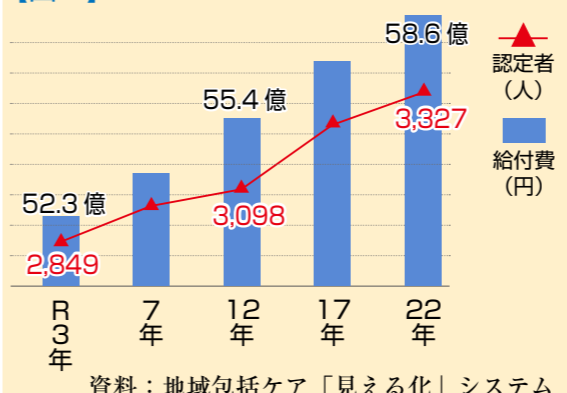
●住み慣れた地域でいつまでも元気で生活していけるよう地域全体で支える取り組み



【図1】 市の総人口推移と高齢化率



【図2】 市の給付費と要支援・要介護認定者数



高齢化と給付費の増大

平成12年からの介護保険制度の開始以降『日常生活動作が困難になってきたら、介護保険サービスを利用する』という考え方が定着してきました。介護保険サービスは、できなくなったことの代行支援を主要内容とし、一度サービスを受け始めたらずっと利用するものという考え方が広がっており、「今まで介護保険料を払ってきたんだから、存分に利用しなくては」という声も聞かれます。ところが、少子高齢化が進

み、支え手の不足と介護サービスや医療に要する社会保障費の増大、それに伴う介護保険料の負担は深刻な問題です。

【図1・2】

また、これからの社会を担う子どもたち世代、孫たち世代へ及ぼす負担も計り知れませんが、これから高齢者となる人が年齢を重ねても、自分でできることは自分でいながら、自分らしい生活を少しでも長く送るためには、介護保険サービスへの認識を正しく持ち、早めに介護予防や機能回復に取り組むことが大切です。

◆インタビュー◆

地域貢献の思いから始まった市内で初の取り組み

運動免許証の返納などで自宅にこもり、身の回りのことが自分で出来なくなりつつある人が潜在的に多くいることを、まちづくりの活動などを通して知りました。

そのような人たちが集まり、認知症や介護が必要な状態にならないようにする場所を提供できないかと考え、始めました。最初は地域の人を呼んで、転倒予防の運動などを行ったところ、今の教室になりました。

今後はこういった場所を増やし、市民みんなが、自宅でも気軽に介護予防の運動をしてもらえるように広がっていきたいです。



和福祉サービス
代表
おぐら かずや
小倉 和也 さん

続けるうえで大切なのは楽しく・面白く運動すること

体操教室のインストラクターとして高齢者と関わる中で、積極的なコミュニケーションを大切にしています。冗談などを言ったり、楽しく話しながらも、機能回復・維持につながる運動をします。当日の参加者の状況などに合わせた運動を行い、自宅での継続もお願いしています。



和福祉サービス
介護福祉士
はら しょういちろう
原 昭一郎 さん

体操教室参加者のこえ

近所の人の紹介で通い始めました。運動をしながから、新しく出会った人と交流できることが楽しくて毎回参加しています。(轟福夫さん・恒子さん夫妻)



のじり地域包括
支援センター 主任
しい なおみ
椎 直美 さん

地域包括支援センターは高齢者のための総合窓口

介護サービス全般が、「介護が必要になったときに利用するもの」と思われていますが、介護が必要な状態にならないために行っている事業もたくさんあります。それらに早いうちに取り組むことで、健康な状態を維持することができます。そのため、少しでも年齢による身体機能の低下に不安を感じたり、自分の体力に合った運動がしたいと思ったら、お近くの地域包括支援センターに相談ください。

状態を聞きながら、相談者に合った支援サービスの提供や必要な機関に繋ぐことが、地域包括支援センターの役割です。

元気な高齢者が活動する健康のまちづくりを一緒に

外出自粛により、身体機能や認知機能の低下が懸念されるなか、自分らしい生き方を維持するためには、介護を必要とする状態を予防することの大切さを理解し、自分自身で健康、身体機能維持に努めることが大切です。そして、介護などの支援が必要な人にはしっかりと適正な支援をする取り組みを市をはじめ、関係機関が連携して行っていく必要があると考えます。

自分の健康は自分で守り、さらに地域の力をプラスして、笑顔あふれる・元気な高齢者がいきいきと活動できる「健康のまち」づくりと一緒に取り組んでいきましょう。



市長寿介護課長
いっしき しゅんいちろう
一色 俊一郎

元気わくわくよかんべじゃ体操教室

場所：きりしまの園デイサービスセンター
日時：土曜（午前）

体力維持につながる柔軟体操からマシントレーニング、リラクゼーションまで幅広い運動を笑いありで楽しく行っています。管理栄養士の考えたおいしいご飯もあります！



元気わくわく櫛の丘体操教室

場所：櫛の丘ひなもり園デイサービスセンター
日時：月曜～金曜（午前）

また来たくなるような時間作りを大切にしています。仲良く、楽しく時間を過ごしましょう。



送迎付き
一般介護予防

「元気わくわく教室」実施事業所の紹介

「元気わくわく教室」は、掃除や調理など日常生活の動作が一部難しくなり、介護保険の介護予防サービスを利用していた人が、サービス利用を終了した後、再び家で閉じこもりがちになってしまうことを防ぐ教室です。

利用は1回500円で、1時間30分～2時間の中で運動、栄養、口腔機能、認知機能に働きかけ、自分で健康を維持することができるための内容を提供します。

要支援1か要支援2でサービス終了を予定している人、総合事業対象者、移動手段がなく閉じこもりがちな人を対象とします。

- 問・小林市地域包括支援センター
TEL 25-0707
- ・のじり地域包括支援センター
TEL 44-2271
- ・小林市西部地域包括支援センター
TEL 27-2552

元気わくわく万歳体操教室

場所：なごみ庵（和福祉サービス）
日時：火曜（午前）、水曜（午前・午後）、金曜（午前）

足腰が丈夫になって、食欲が出て、みんなと楽しく話せて、息抜きができる場所です！



自治会活動で育む地域の絆

～みんなで取り組む加入促進～

自治会（区・組）は、私たちの生活を支えるさまざまな役割を担っています。しかし、近年加入率は低下傾向で、このままでは運営に支障が出る恐れがあります。

積極的に自治会活動に参加して、自治会の役割を理解し、その必要性を伝えることが加入促進につながります。

●問=企画政策課 Tel.23-0456



▲QRコード（市ホームページ）から区・組への加入申込ができます

自治会では（区・組）ではこんな活動をしています

ふれあいの場をつくる

伝統行事や季節の行事の開催や、学校行事への協力など、さまざまなイベントを行うことで、地域のふれあいの場を作っています。



安全な暮らしを守る

防犯灯の設置や維持、子どもやお年寄りを守るための交通安全活動や防犯パトロールなど、安心・安全な生活を送るために活動しています。



まちをきれいにする

住んでいる地域の掃除や草刈り、ごみ集積所の設置や掃除、花を植えるなどの活動を行い、きれいなまちづくりをしています。



災害に備える

避難訓練や非常時の物資の備蓄などを行い、災害が起こったときに人員確認・救援物資の配給などがスムーズになるように活動しています。



自治会への積極的な加入・参加をお願いします

自治会は、地域のにぎわいづくりや、困ったときに地域で助けあうための必要不可欠な組織です。

地域の行事は、住民みんながひとつにまとまることで、イベント後の交流会などでは普段関わることのないような他業種の人も意見交換できるのが魅力です。

また、通学路の清掃活動などでは、子どものいない家庭の人や若者なども、地域のために活動しています。

今は、みんなで助け合って生きていかないといけない時代です。自治会の仕事も、みんなで分担し、自分でできる範囲で無理なく助け合えればと考えています。

自治会を難しく考えずに、近所づきあいの延長線上にあると思ってもらい、ぜひ自治会活動への積極的な参加をお願いします。

小林市市長会
橋ノ口孝一 会長

新船「フェリーたかちほ」
就航記念企画

シンセン！こばやし！ フォトコンテスト

テーマ「シンセンな小林」

4月1日（金曜）～5月13日（金曜）



新しく見つけたシンセンな小林！
自慢したくなるシンセンな小林！
知られていないシンセンな小林！

何気ない日常も、何気ない風景も、見方を変えれば新鮮！
あなたが思う『シンセンな小林市の魅力』を写真で大募集します！

●賞

- ・最優秀賞1点
（フェリーたかちほ往復ペアチケット）
- ・優秀賞3点（旬のくだもの）
- ・佳作3点（ふるさと産品）

●募集写真

「シンセンな小林市の魅力」
※概ね3年以内に小林市内で撮影した写真
※日付入り、組写真（コラージュ）は不可

●結果発表

市公式ホームページおよびInstagram、
「広報こばやし」で発表

●応募方法

- ・Googleフォームで応募
- ・Instagramで応募
- ・地方創生課窓口か郵送で応募

●その他

- ・最優秀賞の賞品は「宮崎県長距離フェリー航路利用 促進協議会」より提供
- ・注意事項を確認、同意のうえ応募ください

●問=地方創生課 Tel.23-1148

コンテスト詳細は市公式ホームページを確認ください→



市公式HP
コンテスト詳細

4月15日（金曜） 新船「フェリーたかちほ」就航



<宮崎県長距離フェリー航路利用促進協議会>

一面の海を照らす朝日、満点の星空や波音、潮の香りを感じながら、船旅ならではのゆったりとした時間、非日常体験を楽しめます

◆特徴

- ①南国宮崎をイメージした温かみのある内装
- ②個室の増加、ペットと宿泊できる部屋を新設
- ③展望サロン、ラウンジ、キッズコーナーなどパブリックスペースが充実
- ④コンサートやグルメフェアなど、ゆったりとした時間を楽しめる演出を実施予定

●問=宮崎カーフェリー株式会社
Tel.0985-29-8077



新船特設
サイト

募集

パブリックコメントの募集

将来にわたり安定的に下水道事業を継続するため、中長期的な経営の基本計画「小林市下水道事業経営戦略」を策定しています。この計画(案)への意見を募集します。

◆募集期間

4月11日(月曜)～5月10日(火曜)

◆閲覧場所

市ホームページ、情報公開室(本庁舎総務課内)、上下水道課、須木庁舎地域整備課、野尻庁舎野尻上下水道グループ、西小林出張所、紙屋出張所

◆応募方法

所定の意見等提出書に必要な事項を記入し、直接持参、郵便、ファックス、電子メールで応募ください。

◆問・上下水道課

Tel 23・0312 FAX 23・9841

Mail: k_toket@city.kobayashi.lg.jp

講座・催し

元気カレッジしあわせ学園 知りたいワクワク学んでニコニコ元気大学

◆応募資格

市内在住のおおむね40歳以上の人

◆学習内容

国際理解・フレイル予防・食育講座・視察研修ほか

◆日時(毎月第2火曜・全10回)

5月10日(令和5年2月9時30分～12時)

◆日時変更の場合あり

◆場所

中央公民館大集会室ほか

◆受講料 1千円(年額)

※材料費などは別途個人負担

◆募集人数 40人

◆申込期間

4月1日(金曜)～22日(金曜)

◆申込方法

中央公民館窓口か、電話で申し込みください。

※詳細は受講者に別途通知

◆申・問

社会教育課 Tel 22・7912

保健・福祉

住民税非課税世帯等の臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人の生活支援を目的とした給付金で、対象となる世帯には確認書を送付しています。

しかし、未申告者がいる世帯は「世帯全員の令和3年度住民税(均等割)が非課税であること」が確認できないため、対象と思われる世帯でも手続きに必要な確認書を送付できません。

未申告者は早急に申告を済ませて、申請手続きを行ってください。

◆問

福祉課 Tel 23・0111

のじり生涯学習講座

ミネラルたっぷり味の味噌作り教室&腸活講座

◆日時 5月30日(月曜) 13時～15時30分

◆場所

野尻町保健福祉センター

◆対象 市内在住・在勤の人

◆定員 12人(申込多数の場合は抽選)

◆費用

参加費無料、材料費3千円

◆申込方法 窓口か電話

◆申込締切 5月16日(月曜)

◆申・問

教育部野尻分室

電話44・1100

ミニテニス教室

誰でも簡単に楽しめるミニテニスの基礎を体得してみませんか。

◆日時(毎週水曜・全8回) 5月11日(水曜)

～6月29日(水曜)

13時30分～15時30分

◆場所 真方地区体育館

◆定員 10人程度

◆費用 1千円(ボール代、会場費)

◆申込方法

電話で申し込みください。

◆申込締切 4月22日(金曜)

◆その他ラケットは期間中貸与します。

◆申・問・テニス協会事務局

Tel 23・7201

音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者に広報紙、議会だより、本などを正確に分かりやすく音訳するための養成講習会です。

◆講習期間(第2・4土曜) 5月14日(令和5年3月13時30分～15時30分)

◆場所

市社会福祉センター

※市立図書館横

◆対象

パソコン操作ができる人

・講習終了後にボランティア活動ができる人

◆受講料

無料

※テキスト代は別途個人負担

◆受講方法

受講希望者は電話で申し込みください。

※当日申込も可能

◆申・問

市社会福祉センター

Tel 23・3466

朗読友の会代表(水間)

Tel 23・3498

小林市地域婦人連絡協議会の会員を募集

女性パワーで毎日キラキラ、「健幸なまち」づくりを一緒に目指しませんか
主な活動は、交通安全運動、イベントでのおもてなし、各種まつりへの参加、環境美化、青少年の健全育成など。また、県内の婦人会会員との親睦も深められます。

◆対象 市内居住の20歳以上の人
●問=社会教育課 TEL22-7912



◆その他 対象者や請求方法など詳しくは窓口でお問い合わせください。

◆問・福祉課

Tel 23・0111

家族介護者の集いに参加してみませんか

介護をしている人と悩みを出し合い、語り合う集いを開催します。介護経験などについて語り合い、そこから何かヒントを見つけていただければ幸いです。誰でも参加できます。

◆日時

5月14日(土曜) 13時30分～15時

◆場所

小林市地域包括支援センター

◆内容

集い

◆野尻地区

◆日時 5月14日(土曜) 10時～12時

◆場所

野尻町保健福祉センター

◆内容 癒しの音楽会・アロマハンドケア体験

◆参加費 無料

◆その他

小林地区は予約不要。野尻地区は前日までに予約が必要です。

◆申・問

小林市地域包括支援センター

Tel 25・0707

のじり地域包括支援センター

Tel 44・2271

小林市西部地域包括支援センター

Tel 27・2552

e-カフェに参加してみませんか

地域の子どもや高齢者、認知症の人やその家族など、どなたでも気軽に参加し、お茶や話をしたり、歌やゲームなどをして交流を深める場です。

◆その他

須木総合ふるさとセンターは前日までに予約が必要です。その他の会場は予約は不要ありません。

◆e-カフェ開催一覧

| 地区 | 日程 | 時間 | 場所 | 参加費 |
|----|-----------|---------------|---------------|------|
| 小林 | 5月11日(水曜) | 13時30分～14時30分 | 市社会福祉センター別館 | 100円 |
| | 5月18日(水曜) | 10時～11時 | 細野小学校 | 100円 |
| | 5月25日(水曜) | | 細野団地集会所 | 100円 |
| 須木 | 5月18日(水曜) | 10時～11時30分 | 永田館 | 無料 |
| | 5月25日(水曜) | | 須木総合ふるさとセンター | 無料 |
| 野尻 | 5月25日(水曜) | | 東麓地区(茶のん場ふもと) | 無料 |
| 内山 | 6月から開催予定 | | | |

◆問

小林市地域包括支援センター(小林地区)

Tel 25・0707

小林市社会福祉協議会須木支所(須木地区)

Tel 48・2073

のじり地域包括支援センター(野尻・内山地区)

Tel 44・2271

【ご注意ください！】新型コロナウイルス感染症の状況によって、記載の催しなどが中止・延期の場合があります。詳しくは各問合せ先に確認ください。



梨央さんは母親の影響で昨年6月に習字教室に入会。教室での週1回2時間練習に加えて、宿題の字の練習帳などを活用しながら熱心に練習しています

南小学校1年の寺谷梨央さんが 日本習字展「観峰大賞」受賞を報告

日本習字教育財団主催の「第26回公募日本習字展(硬筆・ペンの部)」で、南小学校1年の寺谷梨央さんが「観峰大賞(全国の小学1年生のなかで1位)」を受賞し、3月2日、市長に受賞を報告しました。梨央さんは、「賞をとれてびっくりした。もっとうまくなれるように細かいところまでがんばりたい」と話していました。

安心・安全な登下校を願って

2月18日、宮崎県自動車整備振興会小林支部(上村一郎支部長)より交通安全のための啓発用品として、下敷きと定規が寄贈されました。寄贈いただいた用品は市内の新小学1年生367人に配布され、子どもたちの交通安全や防犯に役立てられます。



ライオンズクラブ寄付

2月24日、小林こすもすライオンズクラブ(松山盛文会長)より寄付があり、寄付金の贈呈式がありました。同クラブはさまざまなボランティア活動を通して地域に貢献しており、いただいた寄付は子育て支援事業のために活用されます。



農業で優れた成績を収めた3人が 知事賞・特別賞を受賞

2月21日、「県農産園芸特産物総合表彰式」が行われ、片ノ坂信夫さんが経営部門(だいこん)1等、倉山雄一さんが経営部門(マンゴー)2等、園田悠輔さんが普通蒸し煎茶の部1等を受賞。あわせて片ノ坂さんが九州農政局長賞、倉山さんが県果樹振興協議会長賞、園田さんが県経済農業協同組合連合会代表理事会長賞を受賞しました。



受賞した片ノ坂さんは「面積当たりの収量を増やすために工夫してきました。今回の受賞を励みに、さらにいい大根を作っていきたい」と話していました

研究成果の共有で教育をさらに充実

2月16日、市教育研究センター調査研究発表会・授業論文表彰式が行われました。式では、授業論文一席の日高貴善教諭(須木小)と二席の原屋敷貴子指導教諭(細野中)の研究発表や、永久津小・中で行われている小中一貫教育の実践内容の発表などが行われました。



(株)ダイナムと災害協定を締結

2月16日、市は(株)ダイナム(中原亮一郎小林店ストアマネージャー)と、災害時に施設敷地を避難スペースとして提供するための、施設利用の協力に関する協定を締結しました。同社として県内初の協定で、大規模災害時に一時的避難場所として提供されます。



**小林市長選挙
小林市議会議員補欠選挙**
4月17日(日曜) 7時~18時
●問=選挙管理委員会
TEL 23-1143

障がい者巡回相談会を開催します
にしろも基幹相談支援センターの相談支援専門員による障がい者巡回相談会を開催します。障がいのある人やその家族などの相談に応じ、情報提供や助言を行います。気軽に相談ください。
日時 4月18日(月曜) 10時~15時
場所 市社会福祉センター(別館第1会議室)
対象者 障がいのある人やその家族、関係者など
※障がいの種別や診断の有無は問いません
●問・にしろも基幹相談支援センター
TEL 22-2373

土地・家屋価格等縦覧帳簿を設置
自己の資産と近隣の資産の価格を比較できるように縦覧帳簿を設置します。縦覧は無料ですが、課税台帳の交付は有料です。
日時 4月1日(金曜)~5月2日(月曜) ※土日、祝日を除く8時30分~17時15分
場所 税務課、須木庁舎住民生活課、野尻庁舎住民生活課
対象 本市の固定資産税納税者、納税者の委任を受けた代理人
必要なもの 窓口に来られる人の本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証など)、代理人は委任状
●問 税務課
TEL 23-0115

新型コロナワクチン接種に関する情報 (3月23日現在)
●問=新型コロナウイルスワクチン接種推進室 TEL 24-5007
ワクチン接種関連の情報をお知らせします。最新の情報は、市ホームページや防災ラジオ、メール配信サービスでも随時お知らせします。
■5歳~11歳接種がはじまっています
対象者全員に接種券を発送しました。接種は強制ではありませんので、家族でよく話し合って決めてください。
■3回目接種の接種券を順次発送中
2回目接種から6カ月が経過した18歳以上の人に、順次発送しています。なお、ワクチンの供給量などにより発送が前後する場合があります。※国の方針により対象者が変更になることがあります

3回目接種済み人数・接種率

17,005人
50.4%

※3月22日現在
(対象者 33,768人)

市ホームページ

▲接種券の発送状況などお知らせ

民生委員・児童委員の改選の年です
民生委員・児童委員は、地域の身近な相談役や子育てに関する支援員として、市民が安心して生活できる地域をつくるために活躍するボランティアです。民生委員・児童委員の任期は3年であり、今年是全国一斉改選が行われます。地域の福祉を支える民生委員・児童委員の活動にご理解とご協力をお願いします。
●問=福祉課 TEL23-0111

| 人のうごき(小林市の人口) | | | | 火災・救急発生状況 | | | | 交通事故発生状況 | | | |
|---------------|----------|-------------|--|-----------|-----|-----|-----|----------|-----|-------------|-----|
| 人口 | 42,856人 | (-83, -630) | | 種別 | 2月 | 累計 | 昨年 | 種別 | 2月 | 累計 | 昨年 |
| 男 | 20,002人 | (-36, -264) | | 建物 | 1 | 2 | -4 | 人身 | 6 | 19 | -7 |
| 女 | 22,854人 | (-47, -366) | | 林野 | 0 | 1 | ±0 | 物損 | 71 | 121 | +19 |
| | 19,088世帯 | (-41, -97) | | 車両 | 1 | 1 | +1 | 死者 | 2 | 2 | +2 |
| | | | | その他 | 0 | 0 | -6 | 負傷者 | 7 | 21 | -8 |
| | | | | 救急 | 150 | 353 | +36 | 全国死者 | 359 | (昨年同月比 -46) | |

令和4年3月1日現在現住人口 (前月比、前年同月比)
現住人口: 国勢調査人口(実際に居住している人口)を元に、その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。
※令和2年10月1日に公表された「令和2年国勢調査確報値」を反映



児童の各提言に対して、市長、教育長、すきむらづくり協議会の関係者が助言と感想を述べました

若い世代が考え提言 須木の未来づくり提言発表会

3月15日、須木小学校6年（当時）の児童7人が、須木庁舎の議場で須木地区の未来について提言発表会を行いました。児童は総合学習の時間に農業の後継者問題、空き家対策など自ら調べ資料を作成し、市長や関係者に発表しました。下原優空さんは「提言したことが実現して須木が発展してほしい」と感想を述べました。

手作りコサージュで卒業生を祝う

2月21日、林業や環境について理解を深めるための授業（小林市林業研究グループが主催）が須木小・中学校で開催されました。中学校では2年生が卒業する3年生のために、かんなくずを材料としたコサージュを作成し、祝いの言葉と一緒に贈呈しました。



地域へ感謝の気持ちを込めて提供

サンキョーミート株式会社が地域貢献活動として、市内の小中学校給食用に豚肉約200kgを無償提供し、各学校で提供されました。野尻小学校では2月18日、豚バラ肉を醤油で煮込んでご飯にかける台湾料理ルーローハンとして提供されました。



小林中生徒が大会での健闘誓う

3月11日と15日、小林中の女子ハンドボール部が全国大会へ、男子ハンドボール部と女子硬式テニスチームが九州大会へ出場することを市長に報告しました。女子ハンドボール部主将のおおみずさわさんは「保護者や関係者に感謝を忘れず、県代表として一生懸命プレーしたい」と決意表明しました。



女子ハンドボール部



男子ハンドボール部



女子硬式テニスチーム

コミュニティ活動の発展につながる

（一財）自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」を受け、内山区の内山地域福祉センターにバルーン投光器やテントなどの備品が整備されました。同事業は宝くじの受託事業収入を財源として社会のために役立てられています。



受賞した作品は令和3年度に策定された「第4期小林市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の表紙や挿絵として掲載されます

見る人が笑顔になる優しく夢のある 絵が多数応募

2月22日、「福祉のまちづくり」への理解を深めるきっかけになることを目的としたイラスト募集の表彰式が行われ、最優秀賞に三松小3年（当時）の永住朔大さん【写真㊤】の作品が選ばれました。また優秀賞を南小の後藤はるのさん【写真㊦】と同校の福岡百穂さん【写真㊧】が受賞し、宮原市長から賞状などが贈られました。

テニスコートの照明がリニューアル

昨年12月から改修を行ってきた小林総合運動公園市営テニスコートの照明LED化の工事が終了し、3月7日から一般利用を開始しました。LED化で従来より明るく、夜間でも快適・安全にテニスを楽しむことができるようになりましたので、活用ください。



市民の人権相談窓口として

3月7日、人権擁護委員として佐藤宗一さんが法務大臣より委嘱されました。人権擁護委員として再任の佐藤さんの任期は令和6年12月31日まで。毎月「人権・行政・なやみごと相談」を開催していますので、気軽に相談ください。相談日は19頁に記載。



地域医療を考える会が みやざき社会貢献活動賞を受賞

3月18日、社会貢献活動で特に顕著な功績があった個人・団体を表彰する「みやざき社会貢献活動表彰」を「地域医療を考える会（山下浩司会長）」が受賞し、県庁で表彰式が行われました。同会は平成22年設立。西諸の医療のあり方を市民の立場で考え、行政・医療機関と協働して、地域医療を守り育てることを目的に活動しています。



山下会長は、「これまで携わっていただいた皆さまに感謝するとともに、今後も西諸地域医療の後方支援に努めていきます」と話していました

卒業式で看護の道への決意新たに

3月1日、小林看護医療専門学校卒業式が挙行政され、5期生34人が卒業しました。卒業生代表の日高大地さんは「喜びと苦しさの入り混じった3年間でした。クラスメイトや先生方、学びを支えてくださった全ての皆さんに感謝します」とあいさつしました。



2年間の学びを糧に旅立つ

3月3日、小林看護医療専門学校の第62回卒業式が挙行政され、14人の生徒が卒業しました。卒業生を代表して川原衣織さんが「先生・保護者・同級生に感謝しながら、どんな困難でも、乗り越えていきたいと思っております」と感謝と決意を述べました。



●納付・納税・年金 ほけん課 Tel 23-0116 税務課 Tel 23-0115 市民課 Tel 23-1112

Table with 5 columns: 種類, 月日, 場所, 時間, 備考. Includes entries for 休日納付・納税相談窓口, 年金移動相談, etc.

※年金移動相談は、感染症予防のため休止になる場合があります。事前に都城年金事務所 (Tel 0986-23-2571) に確認ください

その他のイベント

◆二原遺跡公園公開日 4月17日(日) 9:30～11:30



農地移動申請

場所 農業委員会事務局 時間 9:00～17:00 受付開始日 4月7日(木) 受付締切日 4月13日(水)

税・保険料の納付期限

※納期限は5月2日(月曜)です。固定資産税・都市計画税 1期 介護保険料 1期

これは何ぞみ? 答え

かんしょうざい 緩衝材(まゆ状)は『燃やすごみ』 袋から出して中身だけ捨ててください。発泡スチロールと見間違えやすいですが、触ると柔らかい素材です。 ※『緩衝材』とは、荷物を送るときに段ボール箱などに入っているクッション材のことです。

●問=生活環境課 Tel 23-8122

市公式 SNS

公式フェイスブック・ツイッター 『よかとこ小林市』でも、まちの話題や役立つ情報を発信中!



「よかとこ小林市」で検索

●人権・行政・なやみごと相談 市民課 Tel 23-1141

Table with 5 columns: 月日, 曜, 種類, 会場, 時間. Lists consultation dates and locations like 市役所東館 1階相談室.

ひとりで悩まずお話しください

◆こころの電話相談 毎週月曜 20:00～22:00 宮崎いのちの電話(年中無休) 日・月・水・金 21:00～(翌朝) 4:00

その他の相談会や集い(参加希望者は事前に連絡ください)

- 小林保健所の相談会(場)小林保健所(23-3118) 小林こすもす家族会
アルコール家族教室(アルコールで悩む本人・家族) 精神疾患で悩まれている家族の「思い」を共有する集い
ひきこもり・こころの健康相談 毎月第2水曜 13時30分～15時30分

Table listing names and addresses for cushion material donations, including 後藤ツミ子, 八重尾輝美, etc.

愛のし寄せ 令和4年2月末寄付 社会福祉事業寄付者(敬称略) ●一般寄付 福祉のために 小林こすもすライオンズクラブ

リサイクル日程

生活環境課 Tel 23-8122 小林市清掃工場 Tel 24-0959 須木住民生活課 Tel 48-3132 野尻住民生活課 Tel 44-1100

Table with 3 columns: 区, 4月, 5月. Lists recycling dates for various districts like 水流迫, 東方1・2, etc.

今月の これは何ぞみ?



「緩衝材(クッション材)」 (答えは左のページ)

すこやかカレンダー 健康推進課 Tel 23-0323

●育児・親子健康日程

Table with 4 columns: 種類, 月日, 時間, 会場. Lists health checkups and activities like 妊婦健康相談, 赤ちゃん健康診査, etc.

小林市保健センター

●ここにこ運動教室(13:30～15:30)

問: 社会福祉協議会野尻支所 Tel 44-1206

Table with 3 columns: 場所, 4月, 5月. Shows dates for sports classes at 野尻町保健福祉センター.

●健康相談 ※「まちの保健室」は感染症の状況により中止になる場合あり 「健診結果が気になる」「食事のことが知りたい」「どんな運動をすればいいか」など、健康について気になることを気軽に相談ください。

Table with 4 columns: 月日曜, 種類, 会場, 時間. Lists health consultation times and locations like 健康相談, まちの保健室.

日曜祝日在宅当番医(原則として9時から17時)

Table with 4 columns: 月日曜, 在宅医, 電話番号. Lists on-call doctors for various clinics like 宮崎医院, 小林中央眼科, etc.

※変更になる場合もありますので、各医療機関にご確認ください

やっばい
元気がよか!

市の介護予防の
取り組み
第6弾
口の中から健康に

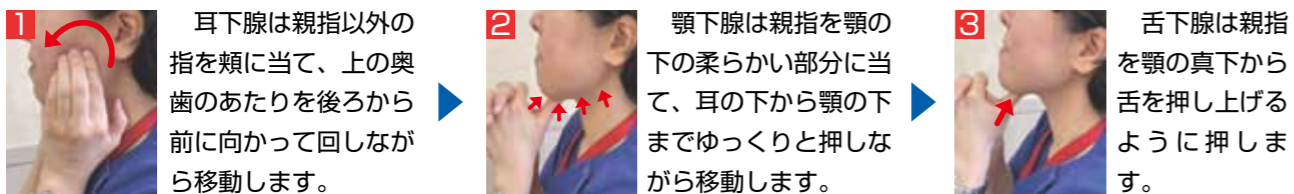
加齢などで、噛む・飲み込む・話すなどの口腔機能が低下した状態をオーラルフレイルと言います。初期には食べこぼしや食事時の咽せ込みなどがある程度ですが、放っておくと次第に噛めない食品が増え、滑舌の悪化や食欲低下に繋がり、全身の健康にも影響があります。予防するには、まず口の中を衛生的に保つため歯みがきや歯間ブラシの使用が大切です。また、口の周りの筋肉を保つため、話したり歌ったりといった生活の中で口を動かすことを心がけましょう。

口の乾燥も大きな原因となります。加齢とともに唾液の分泌量が減少するため、うがいや口腔保湿剤を塗るなどの予防が必要です。さらに、唾液腺のマッサージも効果的です。口の中には、耳下腺、顎下腺、舌下腺と呼ばれる大きな唾液腺があります。これらを刺激することで唾液の分泌を促すことができます。

【下図参照】

口腔体操同様、食事の前に行うと唾液の分泌が促されます。予防は毎日少しずつ続けることが大切です。

【図】



福祉情報をお届けします

社協タイムズ

ボランティアを
したい・頼みたいとき

ボランティアセンターでは、ボランティアを「したい人」と「頼みたい人」をつなげるお手伝いをしています。ボランティア活動の拠点として、気軽にボランティアへ参加できるよう支援する場所です。

◆ボランティアをしたい人へ

活動しやすい環境をつくるためにボランティア登録制度を設けており、LINE (SNS アプリ) を活用して登録を行い、活動情報などを定期的に発信しています。

また、LINE 以外での登録も可能です。活動情報はホームページにも掲載しています。

楽しく、無理せず、できることから始めてみませんか？



ボランティアの登録はLINEのQRコード(左)から友達追加をしてください

◆ボランティアを頼みたい人へ

幅広い福祉の担い手づくりや福祉の心を育むことを目的に、多様な分野のボランティア活動の情報提供をしたいと考えています。まずは気軽に電話で相談ください。

【活動例】

施設の利用者の見守りやイベントなどの手伝い、子ども食堂の手伝い、学習支援の手伝いなど

【活動時間の目安】9時～17時

【活動場所】小林市内

●問・小林市社会福祉協議会

TEL 23-5172

【問】④長寿介護課：TEL 23-1140 ⑤市社会福祉協議会（本所）：TEL 23-3466

元気の
知恵袋

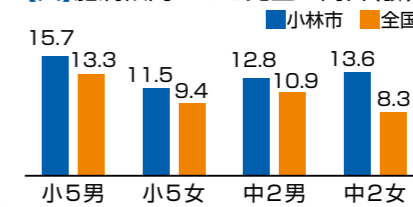
小児生活習慣病
予防健診を
受けましょう



み、将来、心筋梗塞や脳卒中などを引き起こすリスクを高めます。また学童期の肥満は約4割、思春期の肥満は約7～8割が成人の肥満へ繋がるため、早めの改善が必要です。

子どもの時に身についた生活習慣は、大人になってから変えようとしても、なかなか変えられません。よい生活習慣を知り、身につけることは子どもの未来のためにとっても大切です。「自分のからだ」を知るために、小児生活習慣病予防健診を受けましょう！！

【図】肥満傾向にある児童の割合(%)



参考文献：令和2年度学校保健統計

市では、子どもの頃から良い習慣を身につけ、将来の生活習慣病を予防する目的として、小学5年生と中学2年生を対象に、小児生活習慣病予防健診を実施しています。健診では、身長・体重から判定する肥満度や血圧、採血によりコレステロール値などが分かります。令和3年からHbA1cという検査項目を追加し、血液中の糖の状態が分かるようになりました。健診結果によって、保健師や管理栄養士と一緒に生活習慣を見直す面談も行っています。

今回の結果では、肥満に該当する者が全体の13.5%を占める他、血圧やコレステロール値の高い人がみられました。肥満は2型糖尿病、脂質異常症、高血圧などの原因となり、これらを放っておくと動脈硬化が進

小林高校普通科探求科学コースでSDGs 研究を行っている3人の生徒より、忙しい子育て世代の人でも簡単にできる野菜レシピを提供したいと提案があり、市の管理栄養士と一緒にメニューの開発を行いました。今回はSDGsの「すべての人に健康と福祉を」をテーマに、健康・栄養を意識した野菜レシピを考案しました。レシピは市公式ホームページに



考案した「ピリ辛小松菜のナムル」は小・中学校の給食でも参考にされました

掲載していますので、ぜひ活用ください。

◆高校生からのメッセージ

減塩や地産地消を意識し、簡単に野菜を多くとることができるレシピを考えました。小林市では、肥満や生活習慣病が増加しているようです。今回のレシピで少しでも健康に興味をもってもらい生活習慣病の予防につながるとうれしいです。



料理レシピ(市公式ホームページ)QRコード

1日350gの野菜摂取で

ベジ活!

高校生が考えた
簡単に野菜たっぷり
栄養満点の料理!

【問】④⑤健康推進課：TEL 23-0323 Fax 23-0325

画：友安よーいち
第92話「春を楽しむ」



<編集後記>
介護予防の取り組みを取材しました。「元気なうちから運動などの介護予防に取り組む、自分でできることは自分です」意識が大切だと、あらためて感じました。(佐藤)
総合計画等審議会の吉丸会長、区長会の橋ノ口会長を取材しました。一人ひとりが、できる範囲でちょっとした取り組みを積み重ねることが、結果として地域のためになるのだと感じたインタビューでした。(前原)

心の花びら

風辛夷ちよきぱーもありシニアカー (小林合歓の会 中園直子)
春兆すB鉛筆の軽さかな (小林合歓の会 海蔵由喜子)
残像はスローモーション落椿 (小林合歓の会 清本幸子)
つかぬ間の過ぎしきらめき霧島の雪 (小林合歓の会 倉田玲子)
水温むクレソン一束買求め (小林合歓の会 入佐典子)
学びしは失恋のみの卒業式 (小林合歓の会 青山スミ子)
桜の密メジロ目が無く鳴くも忘れ (長友正臣)
平成の各残植樹のしだれ梅令和四年度花傘見事 (家村昭文)
限りなく青く澄みたる二月の蠟梅つき飛び去る小鳥 (前満英子)
紗の衣まといて並ぶ春の峰よわいを忘れおどり出でみむ (佐枝記子)
オミクロン今日は何市が何十人気になるニュース我が市の数 (永友チエ)
被害でも地震と戦争お違い地震は自然戦争は人間 (武ナミ子)

SUKU SUKU



小城市優待優待くん
令和3年8月10日生

毎日たくさんの笑顔をありがとう。これからもたくさんの思い出作っていきましょう。
保護者：小城 比呂志、あゆみ

すくすく募集中!

必要事項を郵送またはメールでお送りください。

- ◆必要事項
- ・子どもの名前、ふりがな、生年月日、性別
- ・掲載する写真
- ・保護者の名前
- ・コメント (50文字以内)

【申・問】・地方創生課
mail info@city.kobayashi.lg.jp

小林市立図書館
問=TEL 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷
は毎週土曜



図書 BOOKS

親から子へ 子から孫へ
語りつなぐ童話の世界

4月23日(土曜)～5月12日(木曜)は「こどもの読書週間」です。子どもだけでなく大人も一緒になって楽しめる童話を集めた展示を行います。

- ◆期間：4月2日(土曜)～5月31日(火曜)
- ◆場所：図書館本館1階エントランス

この他にも、「こどもの読書週間」期間中は「岩波少年文庫」の特集や職員おすすめの本の展示を行っています。ぜひ、本との出会いを楽しんでください。

休館と開館時間

- 【本館】毎週月曜は休館
◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
- 【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間 9時～17時
- 【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
毎月1日は館内整理日のため全館(本館・須木・野尻)休館

図書館からのお願い

図書館の返却ポストに、図書館の本ではない本が入っていることがあります。それらの本や館内での落とし物は、3か月間保管しますが、その後廃棄します。

間違ってもポストに入れてしまった場合は、図書館カウンターにお尋ねください。



小林市観光協会と
統合し新体制に

昨今のコロナ禍もあり、今後の観光業は大変難しい局面を迎えています。アフターコロナ観光に向けて、各地方自治体の観光産業の市場競争が激しくなる中、より世の中の変化や消費者のニーズに柔軟に対応できる組織体が必要と考え、観光窓口の統合をすすめてきました。

国がすすめる観光地域づくりの牽引役として、観光庁より登録されたDMO法人である小林まちづくり株式会社の観光推進部の企画力・プロモーション力・発信力と、従来小林市観光協会が担っていた事業を統合する事によって、西諸県圏域における観光の中核的存在になれること、行政やお客様にとっての窓口が一本化する事によ

て、今まで以上にスピーディに観光振興を推進できると考えています。

KITTO小林1階の小林市観光協会窓口は「小林観光案内所」とし、今後も市民の皆様や小林を訪れる方々の観光情報収集の場として、多くのサービスを提供します。



小林まちづくり(株)



小林観光案内所




日本神話の郷 **霧島岑神社**

小林市細野(夷守) 4937 社務所 Tel 0984 - 23 - 0855
(細野中より南へ1.2km直進) 宮司携帯 090 - 3735 - 9954

トラクター・重機
トラック・農機具

見取り無料
どこでも
かけつけます!

古くても、壊れてても、不動車でも

どよりも **高く買い取る** ことを目指しています!!

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、
又は買取額 10%UP 致します。

TEL:0986-77-9092

農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号
Avanti アヴァンティ 携帯:080-3375-9750
〒885-1105 宮崎県都城市丸谷町 2107 FAX:0986-77-9092
<https://kaitorimiyazaki.jimdo.com>

九州355インデリアグループ ●営業時間：朝8時～夜7時

(有)やすかた畳ふすま店

小林店 〒886-0007 小林市真方384-10
TEL (FAX兼用) **0984-22-4566**

都城三股店 〒889-1914 三股町蓼池字前ノ村4178
TEL (FAX兼用) **0986-36-8620**

通話料無料 (フリーダイヤル)
0120-18-4566
お電話下されば見積りに伺います(無料)

和田クリニック
人工透析センター

超純水透析液を使用した質の高い透析治療
最新機種(全自動透析装置)を用いた安心・安全な透析

送迎応談・随時見学会

23-5653 / Fax 22-5142
〒886-0003 小林市堤 3727 番地 1
<http://wada-clinic.or.jp/>

(有)宮内葬儀社
MYAUCHI

0120-24-2349

小林市細野 437 番地 4 (市役所前)
TEL 0984-22-2349

西町斎場・上町斎場・ラウム会館


グリーンシティこばやし

**こばでん申込
絶賛受付中**

小林市が立ち上げた県内初の自治体新電力会社の電気を
ご利用になりませんか!! まずは**無料お見積り**を!
お気軽に下記まで**ご連絡**ください!!

【対象契約種類】高圧施設：全ては、未対応となります
※1)電化住宅や10軒1設置住宅など
低圧施設：従量電灯B(10A～)、従量電灯C、低圧電力プラン

お問い合わせ先 **グリーンシティこばやし(株)** TEL:0984-27-3515
小林市細野464番地1 2F FAX:0984-27-3557



**広告は、
あなたのお店の
第一印象です。**

チラシ、伝票、はがき、封筒、シール、ラベル、
名刺、パンフレット、ポスター、チケット、
掛紙、包装紙、カレンダー、カルテ、冊子、
賞状、ステッカー、タオル、のぼり、垂れ幕、
写真撮影、ポイントカード、メニュー表、
Tシャツデザイン …etc

K 株式会社 こばの印刷

小林市梅の天神下(山麓線)
TEL.(0984)27-0050(代)
FAX.(0984)27-0051
E-mail:kzn.o@abelia.ocn.ne.jp